



発行者 一般社団法人 群馬県手をつなぐ育成会
会長 江村 恵子

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター 5 F
TEL 027-255-6212・FAX 027-255-6241
印刷所 朝日印刷工業(株) ☎ 027-251-1212

『ともに生きる未来をめざして』 第六十回群馬県手をつなぐ育成会大会(利根沼田大会)を開催

沼田市心身障害者育成会会長 田村 肇

県育成会主催の本大会が、令和七年七月二十六日、利根沼田文化会館大ホールにおいて開催されました。

今回は、第六十回の記念大会で、育成会の子供たちの活動を多くの皆さんに知っていただき、更に育成会へのご指導・ご協力を深めて頂きたく、初めてとなる広域圏での開催として「利根・沼田大会」と銘打っての実施となりました。

初の経験であり、群馬県手をつなぐ育成会江村会長を始め、事務局長、沼田市育成会役員で、昨年八月から、沼田市を始め、片品村・川場村・昭和村・みなかみ町の各自治体・社協・育成会・親の会等関係団



江村会長の式典あいさつ

体へご挨拶とご協力をお願いに東奔西走してきました。結果としてかつてない多くの協賛者のご協力を頂きました。

準備と運営も利根沼田一体となつて進め、大会には県内各地から約五百人が参加していただきました。大会テーマは「ともに生きる未来をめざして」で、次の九項目等が決議されました。

◎障害者差別解消法の改正による合理的配慮の周知と支援措置の強化
◎発達障害児への支援を含めた特別支援教育の充実と基礎的環境整備
◎共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育システムの構築を目指す、特別支援教育の資質・専門性を備えた教員の養成・確保及び配置

◎「親なきあと」も安心して暮らせる地域環境の整備

◎地域で暮らし続けるための場所の確保と支援体制の充実

◎日中活動の場の充実と支援体制の安定

◎地域で就職し、その職場で安定して働き続けられるための支援制度の充実

◎地域生活を支え、維持していくための相談支援事業の大幅な拡充と地

域生活支援拠点等の整備、機能拡充
◎災害時における障害者等特別な配慮が必要な方への避難システムの整備と支援ネットワークの構築

オープニングは「沼田ユネスコ少年少女合唱団」の「手をつなぐ母の歌」の合唱で始まり、江村会長の主催者挨拶、沼田市手をつなぐ親の会小林会長の共催者代表挨拶、元県育成会長の都丸省三さんから「育成会六十年のあゆみ」のお話がありました。続いて、知的障害者相談員又は育成会支部役員として勤続二十年以上の個人四名に群馬県山本知事から感謝状が贈られました。

また、特別支援教育と障がい者福祉に貢献した永年功労者等及び特別功労者の個人七十五名と四団体に江村会長から感謝状が贈られました。受賞者を代表して沼田市の大島崇行さんからこれまでの実践を振り返っての謝辞がありました。



群馬県知事感謝状贈呈

県知事や沼田市長など来賓祝辞に続き、障がいのある本人達でつくる群馬県つるの会を代表して沼田市福祉作業所に通う小林達矢さんから四項目の要望が発表されました。

後半のアトラクションでは、沼田特別支援学校による「学校紹介・太鼓演奏」と障害福祉サービス事業所びつころによる「ハンドベル演奏」、沼田ユネスコ少年少女合唱団による合唱の発表がありました。

大会の一環で、福祉施設・団体等による展示及び販売が行われ、会場に訪れた皆さんが実際に品物を手にするなどして、障がい者福祉への理解をさらに深めることができました。

多くの後援団体、協賛団体、関係者の方々には、準備段階から当日の運営や参加に至るまで、多大なるご支援ご協力をいただきました。当会一同ここに深く感謝する次第です。

来年度は、館林市開催の第六十一回大会に引き継がれます。

(沼田市心身障害者育成会事務局記)

ともに生きる未来をめざして

片品村手をつなぐ育成会
副会長 星野 幸子

私は片品村手をつなぐ育成会副会長として出席しました。

江村会長の挨拶に続き、長年知的障害の教育福祉に貢献された方へ表彰状や感謝状の贈呈が行われました。また、山本県知事をはじめ沼田市長、

川場村長などの来賓の方々からも温かいお言葉をいただきました。

つるの会（本人会）の要望が読み上げられ、障害のある人もない人も安心して共に暮らし、共に働ける共生社会の実現を目指して活動することと決議しました。

次に大会決議では、障害者差別解消法の改正による合理的配慮と支援を求めることや発達障害児への支援を含めた特別支援教育の充実と基礎的環境整備、親なきあとも安心して暮らせる地域環境の整備などが決議されました。

アトラクションでは、沼田特別支援学校の太鼓演奏、福祉作業所「びつころ」のハンドベル演奏、沼田ユネスコ少年少女合唱団の母の歌、それぞれがすばらしい発表でした。

会場に展示されたたくさんさんの絵、一つ一つが素晴らしく、皆さんが心をこめた作品を、もともととじっくり見ていたいと感じました。

本大会の実施に向け準備されてきた関係者の方々に感謝いたします。

来年の第六十一回大会は館林市で開催されます。この手は離さないでほしいです。一人もおいてきばりにされないで前に進んでいけることを願います。今大会を機に利根沼田の手をつなぐ育成会の活動が更なる前進につながるように活動してまいりたいと思います。様々な障害や個性、みんながともに生きる未来をめざして。

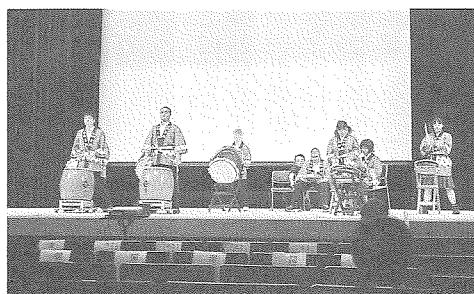
利根沼田大会に参加して

川場村手をつなぐ親の会
会長 綿貫 あき子

川場村手をつなぐ親の会も、二月に沼田の育成会会長田村氏よりお声がけ頂き、人数の少ない小さな会ではありますが、共催という事で参加をさせて頂きました。何回か会議を重ねて準備をして参りましたが、初めての経験ばかりで戸惑いもありました。

ステージ発表では沼田特別支援学校の太鼓演奏や福祉作業所びつころのハンドベル演奏、沼田ユネスコ少年少女合唱団の素敵な合唱がありました。どの団体も皆真剣に演奏しているのを拝見しとても感動致しました。

会場では、福祉作業所や福祉施設等から製作した品々が並び、殆どの方が手に取り見ていました。また、普段なかなかお会いする事のない方



太鼓演奏

や懐かしい方々にも会い、話をする事が出来ました。

私ども川場村手をつなぐ親の会は会員数も少なく、行事等のイベントがあまりありません。そのため、同村の身障連の方達と合同で、年に一度ポッチャ大会を開催しています。川場村社会福祉協議会が事務局となり地域の方々と交流出来る事が大変嬉しく思い感謝しております。

第六十回県大会に参加して

沼和村手をつなぐ親の会
会長 毒島 香織

この度は、第六十回という節目の県大会に共催という形で参加させていただきました。私は、大会決議朗読という大役を仰せつかり、大変貴重な経験をさせていただきました。また、多くの方に参加いただき感謝しております。

さて、沼和村手をつなぐ親の会は、九家庭の会員で構成され活動を行っています。年間を通じ、奉仕作業や外出事業、料理教室、視察研修、福祉セミナーなどを楽しく活動しています。会員同士での情報共有等により、有意義な時間を会員間で過ごしております。

最後に、大会では準備段階より多くの関係者の方々のご支援、ご協力により盛大に開催することができました。関係者の方々には改めて感謝いたします。ありがとうございました。

第六十回県大会に参加して

みなかみ町手をつなぐ親の会
会長 中塚治男

ハンドベル演奏

第六十回県大会への参加の幸運に恵まれて大変感謝しています。私は今回の大会に参加して、子供達の「為せば成る」の精神の実践を見ることができ大変感動しました。オーピングの沼田ユネスコ少年少女合唱団の合唱は素晴らしく、今大会の成功を予想させるものでそのハーモニーに感動いたしました。県立沼田特別支援学校の糸乱れぬ和太鼓演奏と学校紹介は素晴らしく、まさに為せば成るの手のようなものでした。また、福祉サービス事業所ぴっころのハンドベル演奏は心に響くもので、その優しいメロディー演奏には思わず涙が出てしまいました。彼らの演奏を通しての活動は心を揺さぶるものでした。私は彼らの行動実践を通して相田みつを氏の言葉を思

い出さずにはいられませんでした。一生燃焼、一生感動、一生青春、皆さん本当にありがとうございました。感謝、感謝です。



施設・団体の展示・販売

明珠地蔵と清涼園

高崎市手をつなぐ育成会 新町・群馬支部
福島和子

私の子供は昭和五十八年の四月に通所授産施設清涼園に入園しました。今年で四十三年目になります。

園庭に入ると左手に高さが百七十五センチのお地藏様が建っています。台座に「明珠地蔵」「高崎市手をつなぐ親の会」「昭和四十五年四月一日」と刻まれています。このたび県育成会からお地藏様と親の会との関係の記事にするよう依頼があり、清涼園保護者の先輩である故高橋まささんが残された原稿「清涼園ができるまで」を参考にしてまとめました。

昭和二十二年十二月に教育基本法、

学校教育基本法の公布により教育機会均等の精神が盛り上がりしました。以前から障害のある子供に学ぶ機会を待ち望んでいた親達は代表の泉みち子さんを中心に、特殊学級設置運動を開始。高崎市教育委員会に陳情し交渉します。この時期に高崎市手をつなぐ親の会が誕生。昭和二十九年七月特殊学級設置期成同盟を作り、市の有力者、行政、親の会など熱気溢れる会となりました。昭和二十九年十月ついに念願の特殊学級が高崎市南小と北小に開設されました。その後、養護学校も設立され学ぶことの心配はなくなりました。

次は働く場所が心配になりました。授産施設設立の要望が高くなり昭和三十六年市民への呼びかけのビラを配布。昭和三十九年親の会は設立のための資金調達開始。昭和四十二年親の会総会でも設立の話題は出るが実現は難航。募金、小物販売実施。その後少人数の作業場を開設したが成功せず、親の会が高崎市へ交渉に行きました。市は高崎公園近くにある龍廣寺の住職喜美候補主君様にお願ひしたところ快く承諾して下さいました。そして「清涼園」が設立され、現在も就労継続支援B型や生活介護の事業所として活動しています。

こうして念願がかなった高崎市手をつなぐ親の会は昭和四十五年四月一日に感謝を込めてお地藏様を建てさせていただきました。

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の会員様へ

手をつなぐがん保険

なぜ障害のある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？

(※) ぜんち共済お客様アンケートより

手をつなぐ
がん保険
3つの特長1 代理手続き
代理告知が可能
障害のある方向け
プラン2 告知対象
疾患の緩和
障害のある方向け
プラン

加入できます！

右記動画の中で、前会長の久保顧問とぜんち共済代表の榎本が「手をつなぐがん保険」への思いについて対談しています。また又村事務局長による加入方法のご案内もございます。ぜひご覧ください！

3 “親なきあと”に
備える補償
障害のある方
ご家族向けプラン動画はこちら
<https://youtu.be/fEg9QDNV6wM>障害のある方と
そのご家族をワイドに
お守りする
保険です

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

関東財務局長(少額短期保険)第14号

● ぜんち共済株式会社

0120-322-150

〒102-0073

東京都千代田区九段北3-2-5

九段北325ビル4階

URL: <https://www.z-kyosai.com/>

平日10時～16時 / 土日・祝日・年末年始を除く

[受保険会社]

東京海上日動火災保険株式会社

TEL: 03-3515-4126 / 平日9時～17時

Z011-2409R10

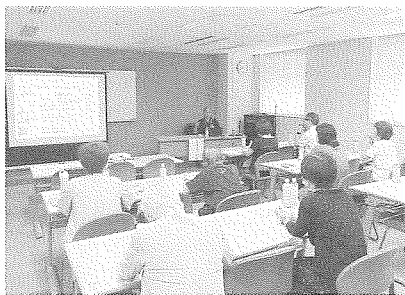
WEBからも
資料請求
できます資料請求
フォーム

※契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」[約款]東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

令和七年度各支部育成会・親の会役員交流会を開催

九月十八日、県社会福祉総合センター二〇三会議室で開催しました。各支部に二名の参加をお願いし、午前は講演会、午後は意見交換会を対面で行い、県内各支部から合計三十三名に参加いただきました。

午前は、(株)ワンライフの障害者支援専門員の高橋俊一郎氏から「障害者の地域生活について」と題してご講演いただきました。高橋さんは事業所では相談やサービス利用手続等に対応するとともに、車いすバスケットボールの全国や関東連盟の役員、群馬県連盟会長にも就かれています。



高橋さんによる講演

講演では、障害者が個性に応じたチャレンジでき、自信と選択が持てる自立支援モデルを創出するという理念による活動が紹介されました。同社の就労支援事業所では、一般

就労を目指し、生成AIやEスポーツ、ペットケアなどの作業を行い、知的障害者も利用可能で気軽に相談してほしいとのこと。また、自分が障害を負った青年期の葛藤などを交えながら、就労支援への積極的な取組や障害者就労の新分野の開拓について熱く語っていただきました。前向きで心温まるお話に、受講者から大きな拍手が送られました。

午後の意見交換会では、まず各地区ごとの活動状況の発表があり、新規加入者の継続的支援や行事の工夫など他支部の取組が参考になったとの声も聞かれました。また、今後の県大会の開催方法についても意見交換が行われました。

第五十二回知的障害者福祉月間記念行事

令和七年九月九日、第五十二回となる本行事の「中央集会」が県庁県民ホール北側で開催されました。

今回は育成会が幹事で実施し、県からは津久井副知事、伊藤県議会副議長、古市教育次長に出席いただき、県内から育成会や施設、学校など多くの関係者が参加しました。

まず、当会の江村会長が実行委員長として知的障害者への理解と支援を求めるメッセージを朗読し、その後、知的障害者本人がメッセージを朗読、直接日々の活動状況や要望を

伝えました。その後、副知事や副議長、教育次長に作業所で作られた製作品を障害者本人から贈呈し、温かい励ましの言葉をいただきました。また、群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」も応援に駆けつけてくれました。今後関係団体が連携して継続した取組を行うことが求められます。



©群馬県 ぐんまちゃん

中央集会メッセージ

県育成会の今後の行事予定

十一月二十日

親なき後を考える講演会

十二月十七日

県社会福祉総合センター

十一月二十九日

知的障害への理解促進委員会

三月十一日(予定)

知的障害への理解促進セミナー

三月十一日(予定)

県社会福祉総合センター

県社会福祉総合センター

知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の生活サポートは 家族の安心を支えます

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビル2号館2F

TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

東京第二プロチャネル営業部

〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階

TEL: 03-5401-3660

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

主な補償内容

病気でケガで入院したとき
入院給付金

※プランによって補償します

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

※プランによって補償します

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償

※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償

※プランによって補償します

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人 群馬県知的障害児者生活サポート協会

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13番12号

群馬県社会福祉総合センター5階

TEL: 027-288-0120 FAX: 027-288-0121

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

http://www.gunsapo.jp/

2025年1月現在の内容です。(D-007608 2026-03)